

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称	教科教育法（算数）						授業形態		
科目コード	750092	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員			アクティブ ラーニング
担当教員名	河野 康男								
授業概要	<p>授業の概要</p> <p>(1)算数の学習指導要領をもとに、幼稚園から小学校までの算数カリキュラムの全体像およびそれぞれの学年に含まれる主要な算数・数学教育理念の理解をはかる。</p> <p>(2)児童の学習をサポートするために、さまざまなタイプのモデルや教材がどのように使用されるのかを提示する。</p> <p>(3)そのことを踏まえて、領域ごとに数学的活動を設け、必要な教材やモデルを自らで考え、効率的かつ効果的な算数教授法をグループで発表し、討論する。</p> <p>(4)児童の数学的見方・考え方を構築する方法、数学的思考や数学概念の習得方法についての理解を深める。</p> <p>(5)学習支援のストラテジーとして、直観力を掴む算数道具やタブレットなどICTの活用を図る。</p> <p>(6)以上を踏まえ、グループで指導計画を立て、模擬授業を実施する。</p>								
関連する科目	算数を事前に受講しておくことが望ましい。								
授業の進め方と方法	はじめに復習を位置づけ、内容の説明の後、数学的活動、ディスカッションを通して、授業を展開する。								
授業計画【第1回】	小学校学習指導要領と教師の役割 小学校学習指導要領の意義と目的を知り、教師の役割を考える。								
授業計画【第2回】	幼稚園教育要領と幼児期の指導 幼稚園教育要領と幼時期の数や図形に関する指導について								
授業計画【第3回】	学習指導要領（算数科）について 学習指導要領（算数科）の特徴と全国学力調査とPISA調査・TIMSS調査について								
授業計画【第4回】	領域A「数と計算」について① 領域A「数と計算」の学年の目標と内容並びに指導の流れについて								
授業計画【第5回】	領域A「数と計算」について② 数の指導方法について								
授業計画【第6回】	領域A「数と計算」について③ 計算の指導方法について								
授業計画【第7回】	領域B「図形」について① 領域B「図形」の各学年の目標と内容並びに指導の流れについて								
授業計画【第8回】	領域B「図形」について② 図形の構成要素や位置関係に関する指導方法について								
授業計画【第9回】	領域C「測定」について① 領域C「測定」の各学年の目標と内容並びに指導の流れについて								
授業計画【第10回】	領域C「測定」について② 長さ、面積、かさ（体積、重さ）の指導方法について								
授業計画【第11回】	領域C「測定」について③ 時刻や時間、角度の指導方法について								

授業計画 【第12回】	領域D「データの活用」について① 領域D「データの活用」の各学年の目標と内容及びに指導の流れについて
授業計画 【第13回】	領域D「データの活用」について② 資料やグラフや表をわかりやすく表示し、それを読み取る指導方法(情報機器の活用法)
授業計画 【第14回】	学習指導案について 学習指導案の備えるべき要素と作成の仕方について
授業計画 【第15回】	模擬授業 模擬授業の実施とまとめ
授業の到達目標	1 幼稚園教育要領と小学校学習指導要領との関連とその内容を理解している。【知識・理解】 2 算数の学習指導要領の4つの領域に応じて、ICT等を活用し指導方法を工夫することができる。【指導スキル・情報リテラシー】 3 学習指導要領を基に、数学的活動を通して、児童の数学的見方・考え方を養成する方法を獲得する。【問題解決力】 4 指導案の作成と模擬授業を行い、反省をもとによりよい指導法に改善することができる。【指導スキル・問題解決力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学修 【予習】	指定した範囲を事前に熟読し、次回の講義内容を把握しておく。(約1時間)
授業時間外の学修 【復習】	受講後はテストを実施するので、その内容を確認し復習する。(約30分)
課題に対する フィードバック	レポート及びその発表内容については、返却時に解説を行う。 授業ごとのテストは評価後、返却及び解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) レポート及びその発表内容(60%) 2) 授業ごとのテスト(40%)
テキスト	1 黒木哲徳『入門算数学』(日本評論社) 2 必要に応じて資料を配布
参考書	『小学校学習指導要領解説 算数編』(文部科学省、最新版) 『幼稚園教育要領(文科省)・保育所指針(厚生労働省)』(チャイルド本社、最新版)
備考	